

## ライフケアガーデン熱川 本館

症 例 概 要 入居者：80代 女性 要介護1

病名：高血圧症、骨粗鬆症、心房細動

経過：結婚後は県外で生活。ご主人の定年後はこちらで暮らしていたが7年程前にご主人が他界された後は独居となる。近くに住む甥に何かあれば関わってもらっていたもののその方も高齢のためだんだんと疎遠になっていった。

ご本人は自宅での生活を続けたいという思いがあったが、周囲に独居生活を心配され5ヶ月前にLCG熱川へ入居することとなった。

### 内 容

社交的な性格で独居生活中もシニアゴルフや絵手紙教室などに参加し日々の生活を楽しんでいました。しかし、加齢による認知機能の低下から親族を非難したり物を盗られた等被害妄想的な言動と物忘れ、下肢筋力の低下がみられるようになりました。周囲の勧めから入居したという経緯から、入居当初は施設での生活に戸惑いがみられました。また、洗濯は自己にて行いたいと訴えがありましたが、洗濯機の操作方法を覚えることが出来ず職員が代行することとなりました。

早く施設での生活に馴染んで頂くよう職員が積極的に声掛けや傾聴をし、リハビリや季節ごとのレクリエーションへの参加を促した結果、再び日々の生活を楽しむようになりました。

最近では 「この施設に出会えて良かった。職員の皆さんにはとても感謝している」と仰るようになりました。

そこで入居者さんは職員に日頃の感謝を届けるため料理を振る舞うことを思いつきました。

生活相談員と食養課に協力を依頼し、得意料理の焼きそばを作ります。

かつてはご主人が仕事関係の人たちを自宅に招き、料理を沢山ご馳走していたという入居者さん、久しぶりの料理に気合が入りました。菜箸とフライ返しを両手に持った入居者さんは見事な手さばきで焼いていきます。お皿への盛り付けもお手のもので美味しそうな焼きそばをあっという間に完成させました。何も知らされていない職員たちに声をかけ、いよいよ焼きそばを振る舞います。職員は利用者さんから手料理と感謝の言葉を受け取ると 「美味しそうな香りですね」「こちらこそ、ありがとうございます」等とお礼の言葉を伝え、「とても美味しいです。利用者さん、ありがとうございます」と笑顔を浮かべながら食べていました。利用者さんも 「久しぶりに沢山料理を作れて楽しかったわ。またやってみたいわね」と

満足そうに笑います。

利用者さんが職員に料理を振る舞うという当施設では初めての試みでしたが、利用者さんと職員双方が感謝を伝えて笑顔になり、心が満たされる時間となりました。利用者さんはその後も、次は何を作ろうかと楽しそうに生活相談員へ話されています。

利用者さんに寄り添い、願いを叶えることで利用者さんだけでなく職員もキラキラとした笑顔になる事例となりました。